

年表

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1915 (大正4)	5.25	梁瀬長太郎の個人経営による「梁瀬商会」(当社の前身)が日比谷に創立 本店設置(東京・麹町区有楽町3-3)三井集会所の一部270坪を借り受け 1階を自動車部、2階を鉱油部で使用 米国ビュイック、キャデラック、英国ウーズレーの輸入販売開始 米国バルボリン社製鉱油類の輸入販売開始	-	日本自動車協会設立、名誉会長:大隈重信、会長: フレーザー、理事:大倉喜七郎、梁瀬長太郎
1916 (大正5)	5.- 10.25 - -	呉服橋に自動車組立・車室製作・修理を行う工場、店舗などの建物を建設 (麹町区銭瓶町2番地) 「博多出張所」を開設 車体架装業務開始 各種自動車用品の取扱開始	-	
1917 (大正6)	1.28 -	本社を呉服橋に移転 乗用車オーバン号、マーサ号、貨物車コーラ号取り扱い	8.- 11.7	三菱造船神戸造船所、乗用自動車(三菱A型)の 試作を完成 ロシア革命
1918 (大正7)	4.- 7.-	東京市街乗合自動車株の注文によりクライズデルのボディ50台を納入 (1台1万円) 日本橋本社の建物を移築し、日本最初の貸ガレージ「梁瀬ガレージ」開設 (麹町区内幸町)	8.- 8.- 11.11	米騒動 シベリア出兵 第一次世界大戦終結
1919 (大正8)	3.28 9.- - 12.-	芝浦埋立地の土地賃貸借契約成立 純国産車「ヤナセ号」、堀久氏らにより試作車完成 技術者、工具など12名を海外留学させる 芝浦工場完成	1.11 3.- 6.28 -	内務省、自動車取締令を公布、取り締まりの全国統一を行う 東京市乗合自動車株開業(芝田町9丁目-浅草稲荷町間、10銭) ヘルサイユ講和条約調印 帝都遊覧バス(東京-大垂水-富士五湖-箱根-東京)の営業開始
1920 (大正9)	1.27 - 11.10	梁瀬自動車株設立(資本金500万円)、事業の進展に伴い、会社組織への 転換を図る 梁瀬商事株設立(資本金100万円)、鉱油類の輸入販売部門を分離独立 「宮城出張所」「秋田出張所」「京都出張所」「仙台支店」「大仁出張所」を開設 「仙台支店」を「仙台出張所」に改称	1.- 9.- -	国際連盟発足 石川島造船所、英国ウーズレーの国産化開始 東京府、道路改良計画立案(本格的な自動車のための道路) 交差点のロータリー出現
1921 (大正10)	11.15 -	芝浦工場、私設保税倉庫開業 米国プレミア取り扱い	-	
1922 (大正11)	8.30 -	エンジンなどすべてを自前で製作した純国産車「ヤナセ号」が完成 わが国最初の中古車オークション開催(芝浦工場)	12.30	ソビエト社会主義共和国連邦成立
1923 (大正12)	5.- 9.1 10.4	長太郎社長、欧米諸国の視察に出発 関東大震災により本店(呉服橋)、横浜支店が消失 長太郎社長、ビュイック、シボレー2,000台の注文をし第1便500台と 共に天洋丸で帰国する	12.27 -	虎ノ門事件、皇太子(後の昭和天皇)が社会主義者により狙撃 米国ゼネラルモーターズ(以下、GM)、事業部制導入
1924 (大正13)	9.1 11.23 -	「大仁出張所」を廃止 東京市営バスへボディを納入 この年以降、梁瀬長太郎社長は日本各地の有力者と共同出資で乗合自動車 事業を始める(筑波乗合自動車、川越乗合自動車、白浜温泉乗合自動車、 登別乗合自動車、東海乗合自動車、雲仙乗合自動車、別府乗合自動車、 大津乗合自動車、京若自動車、濃尾自動車、愛媛自動車など)	3.-	石川島造船所、軍用車ウーズレー号の第1号車 完成
1925 (大正14)	12.18	芝浦工場火災により一部消失	2.-	横浜子安に日本フォード自動車株設立
1926 (大正15)	9.26 10.10 10.15 10.31	「京都出張所」を開設 「広島出張所」を開設 「京城出張所」を開設 「松山出張所」を開設	6.- 6.28 9.- -	(スウェーデン)ボルボ社設立 (独)ダイムラー社とベンツ社が合併、ダイムラー・ベンツ社となる 大阪の実用自動車製造株と快速前進社が合併、ダット自動車株を設立 GM、ポンテアックを発売
1927 (昭和2)	1.10 4.- 5.30 6.1	日本フィアット株設立(資本金100万円) 米国GM社製品の日本総代理権を返還、スチュードベーカー、アースキン、 フィアット、オペル、レオトラック、オースチンの販売権を獲得 フィアット部を新設 芝浦工場の事務所、倉庫新築落成	1.-	日本ゼネラルモーターズ株、大阪に設立(3月組 立開始)

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1927 (昭和2)	12.18 12.-	本社を千代田館へ移転(京橋区南伝馬町) 芝浦に鉄筋コンクリート製車庫を建設	-	
1928 (昭和3)	5.31 -	「仙台出張所」を廃止 レオバスの一手販売権獲得	6.4	中国で張作霖爆死事件勃発
1929 (昭和4)	1.21 - -	「広島出張所」を廃止 相武乗合自動車株の営業を引き受ける(杉田-金沢-戸塚-弘明寺) 隅田自動車の営業権を金30,000円で徳川義親氏へ譲渡	5.- 10.1 10.24	石川島造船所自動車部門が独立し、株石川島自 動車製作所設立 東京自動車商組合設立 世界大恐慌始まる
1930 (昭和5)	7.16	梁瀬商事株を合併(鉱油類の輸入販売を再開) 資本金500万円を130万円に減資	11.14	浜口雄幸首相、東京駅で狙撃
1931 (昭和6)	8.- 8.20	GM社との販売契約を再び締結、ビュイック、キャデラックの販売を再開 本店新社屋へ移転(日本橋通3丁目、新社屋はライト直門の遠藤新博士の 設計によるライト式建物)	8.- 9.18	戸畑物産株、ダット自動車製造株の株式を取得 し、自動車工業に進出 満州事変勃発
1932 (昭和7)	8.1 8.6 10.1 12.20	「京都出張所」を廃止 「横浜支店」を廃止 資本金130万円を91万円に減資 鉱油部門を分離(1926年設立の日本フィアット株が梁瀬商事株と社名変 更、同時に鉱油部門を同社に移譲)	5.15 5.- -	5.15事件、犬養毅首相暗殺 三菱造船神戸造船所B46型バス「ふそう号」製作 (独)アウトウニオン社(アウディの前身)設立
1933 (昭和8)	-	博多支店、九州小型自動車商會を設立、ダットサン九州の販売代理店 となる	3.- 3.27 8.- 12.-	(株)石川島自動車製作所とダット自動車製造株が 合併し、自動車工業株を設立 日本、国際連盟脱退 太田自動車製作所、新規格の小型トラックを完成 日本産業と戸畑物産の出資により自動車製造株設立
1934 (昭和9)	9.21	大阪工場、室戸台風の被害を受ける(ビュイックの500台が高潮で塩水をか ぶる)	6.- -	自動車製造株、日産自動車株(以下、日産)に改称 国産自動車部品組合はフォードを手本に国産ト ラック「聖号」を完成
1935 (昭和10)	6.25	創立20周年記念行事を開催	4.- 8.25 10.- -	日産、横浜工場で組立第1号車「ダットサン」完成 豊田自動車織機製作所自動車部、G1型トラック第 1号車完成 高速機関工業設立(前身は太田自動車製作所) GM海外事業部発足 池貝鉄工所、池貝ディーゼルトラックの試作完成
1936 (昭和11)	4.6 6.5	大阪支店「歌島橋サービス工場・ショールーム」が完成 資本金91万円を100万円に増資	2.26 5.- 10.12 -	2・26事件 自動車製造事業法公布 (独)フォルクスワーゲンの原型完成 新潟鉄工所、「ニイガタ」ディーゼルトラック試作
1937 (昭和12)	4.- 4.- 5.17	高速自動車販売株を設立し、オオタ号の販売開始 柿ノ木坂テニスコートを開設 「博多支店」を「福岡支店」に改称	5.28 7.7 -	フォルクスワーゲン公社設立 日中戦争始まる(盧溝橋で日中軍武力衝突) 自動車工業が東京自動車工業株に社名変更、東京 電気瓦斯工業株自動車部を吸収合併(いすゞの前身)
1938 (昭和13)	8.1 - -	梁瀬高分子産業株設立 梁瀬式天然ガス自動車完成 この年、ビュイックを大量に輸入(戦前における最後の輸入) 為替管理の強化により、自動車の輸入販売をやむなく中止	3.13 5.- 8.27	独、オーストリアを併合 フォルクスワーゲン1号車完成 トヨタ自動車工業株を設立(以下、トヨタ)
1939 (昭和14)	6.7 10.- 12.15 12.-	高浜工場開設(各種自動車の車体および特殊車体の製造を行う) 芝浦工場内に天然ガス自動車係を新設し、天然ガス自動車の普及に向けた 取り組みを開始 日本瓦斯自動車株設立(資本金10万円)、薪炭ガス、天然ガスなどの諸機 械の製作加工、販売 高浜製工所株設立、空冷小型エンジン・スリーブ・ピストンリングなどの製造 自動車の輸入中止に伴い、営業の基幹を工業部門に転換	9.1 12.-	第二次世界大戦始まる(独、ポーランドへ侵攻) 日本GM・日本フォード、操業中止
1940 (昭和15)	-	梁瀬式天然ガス装置の製造・販売開始(日華事変進展に伴うガソリン不足 に対応し開発、東京の自動車の80%がこの装置を使用) 梁瀬長太郎、日本自動車修理加工工業組合連合会会長となる 人造皮革製造所を開設	9.27	日独伊三国同盟調印



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1941 (昭和16)	10. -	梁瀬式圧縮ガス使用装置と梁瀬式液化ガス使用装置の特許を取得、商工省の性能試験にガソリン車以上の成績を挙げて合格	1. -	外国製乗用車販売禁止
	11.14	社名を梁瀬自動車工業(株)に変更	4. -	東京自動車工業、チーゼル自動車工業(株) (以下、チーゼル工業)に改称
	-	梁瀬商事(株)、社名を梁瀬実業(株)に変更し、天然ガス、液化ガスの製造・販売に事業の主体を転換	10. -	総動員法により、商工大臣より自動車統制会設立の閣令指示公布
-	高浜工場で特種車体製造および液体ガス自動車用燃料機の製作を行い、電気自動車・オートバイ・中古自動車の販売を開始	12. 8	太平洋戦争始まる	
1942 (昭和17)	-	株梁瀬電気製作所設立	5. -	全国的に自動車の速度制限始まる
	3.31	資本金100万円を125万円に増資	11. -	ガソリン配給制実施
1943 (昭和18)	10. -	梁瀬モーターズ(株)を梁瀬産業(株)に社名変更		
	12.31	「大阪支店」「名古屋支店」「福岡支店」を廃止		
1944 (昭和19)	1. 1	本社は、自動車工業を専業とすることとし、販売業務の一部を梁瀬産業に譲渡	6. 6	連合軍、ノルマンディー上陸に成功
	2. 6	本社事務所を高浜工場内へ移転		
1945 (昭和20)	3.20	「名古屋支店」空襲により焼失	8.15	第二次世界大戦終結。連合軍日本に進駐
	5.25	芝浦工場空襲により一部焼失	10.24	国際連合発足
	-	「横浜支店」空襲により焼失		
	5.30	会長に梁瀬長太郎、社長に梁瀬次郎就任		
	5. -	梁瀬車庫、戦災により焼失		
	6. 1	大阪支店桜橋事務所、焼失		
	6.13	製造部吉井工場を開設(9月30日閉鎖)		
	6.19	福岡支店、空襲により事務所焼失		
	10. -	日本橋事務所GHQに接収され進駐軍用郵便局となる		
	11.29	社名を梁瀬自動車(株)に復帰		
	11. -	高浜工場は進駐軍のパン工場となる		
11. -	芝浦工場は一部接収され婦人兵宿舎となる			
11. -	【終戦直後の営業】かまど・フライパン・鍋製造、ブローチ・玩具製造(名古屋丸栄デパートへ納入)、下駄製造、化粧石鹸仕入販売			
1946 (昭和21)	2.26	用品部を新設し自動車部品の販売を再開	1. 4	GHQ、公職追放指令
	5.25	梁瀬実業(株)、社名を梁瀬商事(株)に復帰	4.10	新選挙法により衆議院議員選挙実施
	6.30	梁瀬本社、梁瀬産業(株)より同社の大阪、名古屋、福岡の3支店の営業および財産一切を譲り受ける	10. 1	日本輸入自動車連合会結成
	-	芙蓉自動車工業(株)設立 梁瀬貿易(株)設立 【当時の営業種目】中古トラックの販売、オリエント号三輪車、たま号電気自動車の販売、自動車修理、バス車体製作、自動車部品販売		
1947 (昭和22)	7. 8	山陽モーターズ(株)設立	4. 1	富士産業(株) (現・富士重工業)、ラビットスクーターの生産開始
	12.15	梁瀬産業(株)と梁瀬貿易(株)合併	5. 3	新憲法施行
	-	大阪、福岡、各支店新築落成	6. 3	GHQより小型乗用車、年間300台の組み立てを許可される
1948 (昭和23)	1. -	名古屋支店再開	1. 1	フォルクスワーゲン社工場が返還され、ノルドホフ氏が最高責任者となり、フォルクスワーゲン1200生産開始
	8. -	芝浦工場の別棟建物を(株)安田銀行(現・株みずほ銀行)に賃貸	4. 1	ソ連、ベルリン封鎖を開始
	9.24	GM社製自動車全車種の販売権を再び許与され、輸入販売を再開	10.28	商工省、自動車工業基本対策を発表、国産自動車工業の方針を示す
	12.25	宮城モーターズ(株)設立		
	12. -	HDO(Home Delivery Order)業務開始		
-	名古屋、大阪、福岡各支店で三井精機工業(株)のオリエント号三輪車を販売			
1949 (昭和24)	1. -	名古屋支店移転(名古屋市中区丸田町)	3. 7	ドッジ・ライン発表
	3. 1	戦後初の輸入車入荷(ビュイック5台、オールズモビル2台)	4. -	西欧12カ国で北大西洋条約機構(NATO)発足
	3. 5	第1回GM社各車の展示会(芝浦工場)	7. -	チーゼル工業、いすゞ自動車(株) (以下、いすゞ)に改称
	3.11	資本金125万円を500万円に増資	8. 1	駐留軍人、軍属に対する国内販売許可
	3.28	本社事務所を高浜工場より芝浦へ移転	8.17	松川事件発生
	3. -	OAS(Overseas Automotive Service)業務開始	12. -	湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞
	6. 1	「横浜出張所」を開設(横浜市中区北仲通加藤ビル内)		
	8.15	「仙台出張所」を開設(仙台市大町)		
	9. -	日本橋社屋の接収解除		
	10.15	古間木出張所を開設(青森県上北郡三沢)、札幌出張所を開設(札幌市北二条東一本間ビル)		
	12. 1	「静岡出張所」を開設(静岡市・日ノ出町)		
	12. -	GM社系、英国製ボクソール中型乗用車およびベッドフォード・トラックのOAS業務の開始		

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1949 (昭和24)	-	オールズモビル、ポンテアック、シボレーの販売権を他社へ移譲		
1950 (昭和25)	2. 1	天皇陛下御料車として1950年型キャデラックを納入	6.25	朝鮮戦争勃発
	2. 4	梁瀬商事(株)、日本橋ヤナセストアーを開設、米国デュボン社製ペイント、フリージア社製冷房装置、電気冷蔵庫を輸入販売	8.10	警察予備隊発足
	7.25	「松山出張所」を開設(松山市南立花町)		
	7. -	芙蓉自動車工業(株)、静岡梁瀬アウト(株)に社名変更		
	10. 2	輸入自動車等販売業者として通産省より指定される		
	10.10	宮城モーターズ(株)、東北梁瀬アウト(株)に社名変更		
	11.24	社長第1回米国出張		
	12.16	ウエスタン自動車(株)設立(資本金200万円)、本社 大阪市北区梅田町、バックカードの西日本における販売を行う		
1951 (昭和26)	1.24	横浜出張所新社屋落成(横浜西区桜木町)	9. 8	サンフランシスコ講和会議で対日平和条約、日米安全保障条約に調印
	2. 7	「日本橋営業所」を廃止	12. -	木炭自動車本年限りで禁止となる
	6.27	ウエスタン自動車、1951年バックカードの展示会開催(大阪)		
	6. -	バックカード初入荷		
	10. 4	「京都連絡所」を開設(京都市東山区四条通)		
	10. 8	「広島連絡所」を開設(広島市舟入町)		
	10.22	「赤坂出張所」を開設(港区赤坂田町)		
	11.30	中央梁瀬アウト(株)設立(資本金100万円)		
12. 3	「立川連絡所」を開設(立川市錦町)			
1952 (昭和27)	1. 1	資本金500万円を2,000万円に増資	4.28	対日講和条約、日米安保条約発効、GHQは解消
	1. 7	日本橋「ヤナセストアー」、一般日本人に解放される	7.27	朝鮮戦争休戦
	4. 1	日本文化放送協会(現・文化放送)より当社提供の音楽番組「ヤナセアワー」放送開始	8. 1	輸入自動車協会設立、初代会長梁瀬長太郎
	4.10	「古間木出張所」を廃止	10. 3	乗用車の技術提携および組み立て契約に対する取り扱い方針決定
	5. -	メルセデス・ベンツの販売開始(傍系会社ウエスタン自動車(株)が販売権獲得)	10.15	警察予備隊を保安隊に改組
	6. 3	OAS業務終了	11. -	プリンス自動車工業(株)設立
	8. 6	「立川連絡所」を廃止	11. -	高速機関工業、オオタ自動車工業(株)に改称
	9. -	メルセデス・ベンツ初入荷	12. 4	日産、英国オースチンの組み立て製造に関する技術援助契約を締結
	10. 8	日本テレビジョン(株)設立(資本金500万円)	-	フォルクスワーゲン社長ノルドホフ氏来日、フォルクスワーゲン4台サンプルとして持参
	12. 6	中央梁瀬アウト(株)、日欧自動車(株)に社名変更		
	12.27	不二商事と共同で日独自動車(株)設立(資本金100万円)、フォルクスワーゲンの販売会社		
	1953 (昭和28)	1.16	フォルクスワーゲン一般公開(於プリヂェンビル)、来場者6,000人	2.13
4.15		日欧自動車(株)、中央梁瀬アウト(株)の社名に復帰	2. -	日野チーゼル工業(株)・フランスルノー公団、組立製造技術援助契約に調印(4月「4CV」ノックダウン生産開始)
5. -		国際収支悪化のため不要不急品の輸入抑制策により高級外車の輸入販売禁止措置が実施され、これによりバックカードの輸入不可となる	5.29	イギリス登山隊、エベレスト初登頂
7.16		「小倉営業所」を開設(小倉市清水町)	6. 2	英、エリザベス2世女王戴冠式
11.23		「新潟連絡所」を開設(新潟市宮浦町)	7. -	富士重工業(株)(以下、富士重)設立
12.31		資本金2,000万円を5,000万円に増資		
-	フォルクスワーゲンの販売開始			
1954 (昭和29)	4. 1	フォルクスワーゲンの全日本総代理権獲得	4. 2	第1回全日本自動車ショー(国産)開催
	4.26	ダイムラー・ベンツ社全製品の日本総代理権獲得	4. -	富士精密工業(株)、プリンス自動車工業(株)吸収合併
	5.29	本社所在地(登記上)を日本橋から芝浦に移転	6. -	鈴木自動車工業(株)(以下、鈴木)設立
	6. 1	ウエスタン自動車(株)、本社を東京芝浦に移転		
	6. 5	創立40周年記念式典を開催		
	7. 1	大阪、名古屋、福岡各支店、ウエスタン自動車(株)の営業を譲り受け業務開始		
	7. 9	日独自動車(株)解散		
7.17	「大阪支店」移転し、新店舗にて営業開始(大阪市西淀川区千舟東)			
-	梁瀬商事(株)、塗床材デックス・オ・テックスの日本総代理店となる			
1955 (昭和30)	2.21	新従業員就業規則制定実施	1. 8	トヨタ、トヨペット・クラウンおよびトヨペット・マスター発売
	3.25	「久留米連絡所」を開設(久留米市明治通)	7.29	自動車損害賠償保障法公布(強制保険制度始まる)
	5. -	芝浦工場で自動車用の冷暖房装置「ゼネコン」の製造を開始	9. -	日本、関税および貿易に関する一般協定(ガット)に加盟
	10. 5	「京都連絡所」を廃止	11.15	自由党と日本民主党が合同し、自由民主党結成
	-	ヤナセストアー2階にヤナセギャラリー(画廊)を開設		
1956 (昭和31)	4. -	大阪金属工業(株)(現・ダイキン工業(株))の特約販売店となる	7.17	「もはや戦後ではない…」の経済白書を発表
	6.11	梁瀬長太郎会長逝去、6月14日社葬	7.23	梁瀬次郎社長、輸入自動車協会会長に就任
	9.21	米国GM社より名古屋地区のビュイックの販売権を獲得	12.18	日本、国際連合総会で加盟承認



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1957 (昭和32)	1.12	「福岡支店」移転し、新店舗にて営業開始(福岡市平尾新川町)	4.24	富士精密工業株、プリンス・スカイラインを発売
	2.1	ウエスタン自動車株、中央梁瀬アウト株を合併	5.27	輸入自動車協会を発展的解散
	4.30	久留米連絡所廃止	5.28	米国自動車輸入協会、欧州自動車輸入協会創立
	7.1	プリンスの販売を開始(東京本社および福岡支店)	6.5	自動車部品輸入協会創立
	7.11	「目白営業所」を開設(豊島区目白町)	10.4	ソ連、世界初の人工衛星スプートニク1号の打ち上げ成功
	8.1	「三沢連絡所」を開設(青森県上北郡大沢町)	12.11	100円硬貨発行
	9.19	梁瀬商事株、米国ウエスティングハウス社製各種家庭電器製品の販売権獲得	12.-	国産車の対米輸出始まる(12台)
	10.1	資本金5,000万円を1億円に増資		
	12.16	「赤坂出張所」、「赤坂営業所」に改称		
	12.20	梁瀬商事株、英国アラジン社製オイルヒーター、オイルランプなどの日本総代理店となる		
	12.31	「新潟連絡所」を廃止		
	-	梁瀬商事株、大阪金属工業株(現・ダイキン工業株)の代理店となる(空調機器の取扱開始)		
	-	フォルクスワーゲン社製産業用エンジンの取扱開始		
1958 (昭和33)	1.-	梁瀬商事株、三菱電機株の代理店となる(空調機機器およびエレベーターの取扱開始)	3.9	世界初の海底道路、関門国道トンネル開通
	2.11	「久留米営業所」を開設(久留米市東町)	8.25	初のインスタントラーメン発売
	3.5	「山口連絡所」を廃止	11.27	皇太子と正田美智子さんの婚約発表、ミッチーブームが起る
	4.5	「広島出張所」を廃止、大阪支店「岩国営業所」開設	12.23	東京タワー、開業
	6.1	福岡支店「佐賀営業所」を開設	-	フラフープが大流行
	7.7	「赤坂営業所」を廃止(自動車部門)		
	8.25	「横須賀連絡所」を開設(横須賀市汐入町)		
	9.8	「岡山営業所」を開設(岡山市西中山下)		
	10.8	「大阪支店」プリンスの販売開始		
	11.15	「大牟田連絡所」を開設(大牟田市本町)		
	11.22	東北梁瀬アウト株、東北ヤナセ株に社名変更		
	1959 (昭和34)	5.1	ダイムラー・ベンツ社製ユニモグの販売開始	4.10
7.1		「三沢連絡所」、「三沢営業所」に改称	8.1	日産、ダットサンブルーバード発表
11.2		瀬戸連絡所を開設(瀬戸市東共栄町)	9.26	伊勢湾台風来襲
12.1		ガレージ付きアパート「ヤナセモーター」を開設(目黒区清水町)	-	カミナリ族、タフガイ、岩戸景気、神風タクシー
12.7		梁瀬商事株、深川工場完成を機にデックス・オ・テックスの製造開始		
12.10		「横田営業所」を開設(西多摩郡福生)		
12.18		株梁友社設立(資本金50万円)		
-		梁瀬商事株、本社を赤坂に移転		
1960 (昭和35)	1.31	「目白営業所」を廃止	1.19	日米新安保条約、ワシントンで調印
	4.-	ウエスタン自動車株、新工場落成	1.25	三池炭鉱争議激化
	4.-	静岡梁瀬アウト株、日ノ出タクシー株に社名変更	2.7	東京の電話局番が3桁になる
	5.10	「大牟田連絡所」を廃止	2.23	皇太子妃、親王をご出産、浩宮徳仁と命名
	5.21	「横浜出張所」、支店に昇格	2.-	富士精密工業、プリンス自動車工業(以下、プリンス)に改称
	7.1	静岡ヤナセ株設立(資本金125万円)	4.3	ソニー、世界初のトランジスタテレビ発売
	9.24	高浜工場敷地のうち約600坪を首都高速道路公団へ売却	5.14	第1回東京オートショー(外車ショー) 神奈川県江ノ島海岸にて開催、入場者10万人
	10.1	北欧自動車株設立(資本金125万円)、ボルボ日本総代理店となる	5.-	日米新安保条約反対騒動
	10.26	GMシボレーの東北6県における販売権獲得	9.1	小型自動車の規格、1,500cc以下から2,000cc以下となる
	10.28	「札幌出張所」移転し、新店舗にて営業開始(札幌市豊平町東月寒)	9.10	カラーテレビの本放送開始
	10.31	本社および芝浦工場敷地(借地)5,549坪を買い取る	11.11	外車フォトショー、銀座松屋にて開催
	11.18	名古屋支店が豊国自動車のサブディーラーとして中部および北陸地区のシボレーの販売開始		
	11.25	社内報「和苑」創刊		
	-	ギヤマークの新社章決定		
1961 (昭和36)	1.17	大阪支店サービス工場落成	6.24	第2回東京オートショー(晴海)
	1.27	ダイムラー・ベンツ社製ディーゼルエンジン全種の販売権獲得	7.10	第1回外車一般入札実施
	1.28	四国ヤナセ株設立(資本金500万円)	10.15	日紡貝塚女子バレーチーム、欧州遠征24戦無敗で帰国。「東洋の魔女」と呼ばれる
	3.20	梁瀬自動車および梁瀬商事のニューヨーク事務所設置	-	大卒初任給、15,700円。うたごえ喫茶流行
	3.23	第1回ヤナセ・オートラマ開催(赤坂プリンスホテル)		
	5.2	第1回オールヤナセ事業所対抗野球大会(〜3日)		
	7.1	宮城ふそう自動車株設立(資本金350万円)、東北ヤナセ株(ふそう部より分離ウエスタン自動車株)子会社の三星自動車株設立(資本金100万円)		
	9.16	資本金1億円を1億5,000万円に増資		
	-	第二室戸台風により大阪支店被害甚大		
1962 (昭和37)	3.2	「横浜支店」新社屋落成(横浜市保土ヶ谷区岡沢町)	5.28	自動車輸入協会発足
	7.15	梁瀬自動車株の新社屋完成に伴い、梁瀬商事株の本社を同所に移転	8.1	梁瀬次郎社長、自動車輸入協会会長に就任

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1962 (昭和37)	7.18	故梁瀬長太郎会長胸像レリーフ除幕式挙行	9.1	自動車保管場所の確保などに関する法律施行
	10.8	GM車の日本総販売権を獲得(キャデラック、ビュイック、ボクゾール、ベッドフォード)	10.22	キューバ危機
1963 (昭和38)	12.28	日本自動車金融株設立	1.-	巡航見本市船「さくら丸」就航
	-	シボレーの東北4県(青森、宮城、岩手、福島)における販売権獲得	7.15	名神高速道路、尼崎-粟東間開通
	1.21	「岡山営業所」を廃止	11.22	ケネディ米大統領暗殺
	1.25	名古屋支店「瀬戸連絡所」を廃止	-	ボウリングが大人気
	1.26	創立50周年・新社屋落成記念式典を開催		
	2.1	梁瀬商事株を吸収合併、社名を(株)梁瀬に変更し、特殊総合商社として再発足(資本金1億6,000万円)		
		「小倉営業所」を「北九州営業所」に改称。北九州5市(小倉、戸畑、若松、八幡、門司)が合併、北九州市と定めたため		
	6.1	神戸ヤナセ株設立(資本金500万円)		
	9.1	資本金1億6,000万円を3億2,000万円に増資		
	11.18	「神戸出張所」を開設		
	12.14	群馬ヤナセ株設立(資本金500万円)(安中市)		
1964 (昭和39)	5.1	オールヤナセ運動会開催	4.1	観光目的の海外旅行が自由化
	10.1	機械事業部にジョンソン部新設、ポート、エンジンなどの輸入、販売を開始	4.23	自動車輸入、数量割当制に変更
	10.11	ウエスタン自動車株主催オリンピック記念「メルセデス・ベンツ・スペシャルショー」開催(〜18日)	10.1	東海道新幹線開業
	11.2	(株)関東ヤナセマリン設立(資本金200万円、(株)梁瀬50%マイクラフト株50%)、マリンエンジンの販売に従事	10.10	東京五輪開催、重量挙げ、体操、ボクシング、女子バレーなど日本金16個
	11.11	名古屋支店小牧デポー完成		
		フォルクスワーゲンの西日本配車センターとして、約3,300坪の土地に建設		
	11.24	ウエスタン自動車株新整備工場完成		
	11.31	「一宮連絡所」を廃止		
	12.1	東北ヤナセ株新社屋完成		
	-	ジョンソン、エビルロード船外機の輸入販売権獲得		
-	マスターヒーター、レディーヒーターの日本総代理店となる			
-	米国マジック・シェフ社製ガスレンジの日本全国販売権を獲得			
1965 (昭和40)	2.15	米国ブリグス・アンド・ストラトン社製ガソリンエンジンの日本総代理店となる	5.31	プリンス、日産合併発表
	2.21	横浜デポー完成、フォルクスワーゲンの配車・パーツセンターとして、約5,000坪の土地に建設	7.1	名神高速道路全線開通
	3.1	東北ヤナセ株「岩手出張所」を開設	10.1	外国完成乗用車輸入自由化
	3.11	福岡支店「長崎連絡所」を開設	10.21	日産がプレジデントを発表
	4.1	「世田谷営業所」を開設	10.21	朝永振一郎がノーベル物理学賞受賞
	5.4	山陽モーターズ株、広島ヤナセ株に社名変更し当社関係会社に	11.1	自動車輸入協会を日本自動車輸入組合(JAIA)に改組
	6.30	「横須賀連絡所」を廃止	-	エレキギターブーム。アイビールック、パンタロンが流行
	7.1	大阪支店「南営業所」を開設	-	ビール大瓶120円、新聞購読料月額580円
		東北ヤナセ株「郡山出張所」および「福島連絡所」を設置	-	いざなぎ景気(〜1970年)
	7.26	「川崎営業所」を開設		
	9.29	「ヤナセ月寒サービスステーション」を開設		
11.6	(株)関東ヤナセマリン、(株)ヤナセマリンに社名変更			
1966 (昭和41)	1.17	ウエスタン自動車株第3工場完成	2.4	全日空ボーイング727機、羽田沖に墜落
	2.15	福岡ヤナセプリンス株設立(資本金5,000万円、(株)梁瀬70%プリンス自動車販売株30%)、当社福岡支店プリンス部門が分離独立	3.4	カナダ航空機、羽田で着陸失敗炎上
	3.1	名古屋支店「中古車センター」を開設	3.5	英国航空機、富士山上空で墜落
	3.13	札幌出張所「南一条営業所」を開設	3.31	法務省住民登録集計でわが国の総人口が1億人を突破
	4.23	マリーナとホテルを一緒にした「マリーナテル」を開設	5.16	中国で文化大革命が始まる
	6.1	「ヤナセ田町中古車ショールーム」を開設	6.29	ビートルズが来日、武道館公演
	6.28	台風4号により横浜デポー被害	8.1	日産自動車とプリンス自動車工業が合併
	7.1	「札幌出張所」、経営規模の拡大に伴い支店に昇格。大阪、名古屋、福岡、横浜に次いで5番目の支店となる	10.15	トヨタ・トヨタ自販・日野自工・日野自販、業務提携を発表
		東北ヤナセ株「郡山出張所」新社屋完成	-	新三種の神器「カラーテレビ、クーラー、自家用車(3C)」
	10.1	「名古屋支店」新社屋完成		
11.1	「銀座営業所」を開設			
11.7	製造事業部「小机工場」開設			
12.10	福岡支店「北九州営業所」新社屋完成			
1967 (昭和42)	1.16	札幌支店「函館営業所」を開設	6.5	第三次中東戦争勃発
	6.10	広島ヤナセ株「山口営業所」を開設	10.20	吉田茂元首相逝去



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1967 (昭和42)	7.10	横浜支店「湘南営業所」を開設	11. 9	トヨタ・トヨタ自販・ダイハツ工業、業務提携の覚書に調印
	7.21	アウディ全車種の日本総代理店となる		
1968 (昭和43)	2. 1	群馬ヤナセ(株)「前橋営業所」を開設	4.12	霞が関ビルディング完成
	3. 2	横浜支店「磯子営業所」を開設	10.12	メキシコ五輪開催、日本金11個。サッカーが銅メダルを獲得
	3.12	静岡ヤナセ(株)「中古車センター」を開設	10.17	作家の川端康成がノーベル文学賞受賞
	4. 9	双和企業(株)設立(資本金3,000万円) 不動産の売買を目的として、梁瀬と大東京火災海上保険(株)との共同出資により設立	10.21	日産、富士重、業務提携調印
	4.12	大阪支店「茨木サービスセンター」完成	12.10	三億円事件
	7. 1	「横浜営業所」移転、「多摩営業所」に改称		
	9. 9	東照モーター(株)、栃木ヤナセ(株)に社名変更		
	10. 1	神戸ヤナセ(株)、大阪支店神戸営業所となる		
	-	山口ヤナセ(株)設立(資本金3,000万円)、広島ヤナセ(株)山口営業所が独立シボレーの中国5県(鳥取、島根、岡山、広島、山口)における販売権を新たに獲得		
	1969 (昭和44)	1. 6	本社企画部に航空機課新設、航空機の販売開始 和苑100号発行	1.18
2. -	ウエスティングハウス社の日本総代理店になる	5.26	東名高速道路、全線開通	
2.18	日本テレビジョン(株)、(株)テイ・シー・ジェーに社名変更	7.20	米アポロ11号が月面に着陸、人類初の第1歩	
4. 1	商事事業部の空調設備事業を梁瀬空調設備(株)に移管	-	大卒初任給、32,400円	
6.18	シボレーの九州地区における販売権を新たに獲得			
7.14	(株)インターナショナルハウス設立(資本金2,500万円)			
8.21	「世田谷中古車センター」を開設			
10. 1	山口ヤナセ(株)(資本金3,000万円)、当社関係会社となる			
12. 1	(株)梁瀬を(株)ヤナセに社名変更			
12.20	富山ヤナセ(株)設立(資本金800万円)			
1970 (昭和45)	1.23	エアロコマンダー航空機の日本全国販売権獲得	3.14	日本万国博覧会が大阪・千里丘陵で開催、77カ国参加、半年間で約6,421万人が入場
	3. 1	福岡支店「別府営業所」を開設	3.31	八幡製鉄と富士製鉄合併、新日本製鉄となる
	3. 7	第1回オールヤナセ海外研修旅行団出発(～28日)	3.31	日航機よど号、ハイジャックに遭い、韓国金浦空港に強制着陸。ヤナセ福岡支店の平川雅信、4月3日無事帰国
	6.12	(株)インターナショナルハウス、(株)ヤナセインターナショナルに社名変更	4. -	三菱重工、自動車部門を分離し、三菱自動車工業(株)以下、三菱)を設立
	10.28	「スチューケトル赤坂店」を開設	11.25	三島由紀夫割腹自殺
	11.18	折本町サービスセンター完成、横浜支店VWサービス工場およびウエスタン自動車(株)機械部サービス工場が移転	-	日本の自動車輸出は100万台を超える
11.29	日本自動車金融(株)、(株)ヤナセクレジットサービスに社名変更			
1971 (昭和46)	1.20	千葉ヤナセ(株)設立(資本金1,000万円)	2. 4	英国ロールス・ロイス社経営破綻
	2. 1	埼玉ヤナセ(株)設立(資本金1,200万円) 北欧自動車(株)、スカンジナビアンモーターズ(株)に社名変更	5. -	三菱・クライスラー社、資本提携調印
	9.18	福岡支店「板付サービスセンター」を開設	7. -	いすゞ・GM、資本提携調印
	9.22	ヤナセビル新館完成	8.15	ニクソン米大統領が新経済政策を発表(ニクソン・ショック)
	10. 1	東京支店発足(本社自動車小売部門を分離)	10. 1	日本勧業銀行、第一銀行と合併、第一勧業銀行となる
	12. 1	双和企業(株)、日本ライジングサン(株)に社名変更		
1972 (昭和47)	1. 5	「浜田山給油所」を開設	2. 3	札幌冬季五輪開催、70m級ジャンプで笠谷幸生が初の金メダル(日本が金、銀、銅をとって、日の丸飛行隊と呼ばれる)
	4. 1	北九州営業所に黒崎センターを開設	2.19	あさま山荘事件
	6.17	横浜支店「三ツ沢ショールーム」を開設	5.15	沖縄が本土復帰
	6.23	札幌支店「中央営業所」「月寒営業所」を開設	8.26	ミュンヘン五輪開催、日本金13個
	8.30	(株)ソニーとビデオ機器取引契約締結	9.29	日中国交正常化
	9. 1	本社駐車場ビル完成	10.28	パンダのカンカンとランランが上野動物園に到着
	9.30	G.パティストーニ(イタリア)、アンドレ・ルドー・スポーツ(フランス)など紳士・婦人用品の販売開始	-	光化学スモッグ問題発生
	10. 1	関係会社10社が社名を変更 (株)ヤナセ東北(旧東北ヤナセ(株))、(株)ヤナセ群馬(旧群馬ヤナセ(株))、(株)ヤナセ栃木(旧栃木ヤナセ(株))、(株)ヤナセ埼玉(旧埼玉ヤナセ(株))、(株)ヤナセ千葉(旧千葉ヤナセ(株))、(株)ヤナセ静岡(旧静岡ヤナセ(株))、(株)ヤナセ広島(旧広島ヤナセ(株))、(株)ヤナセ富山(旧富山ヤナセ(株))、(株)ヤナセ山口(旧山口ヤナセ(株))、(株)ヤナセインシュアランスサービス(旧梁瀬不動産(株))		
	10. 2	(株)ヤナセ岡本航空設立、エアロコマンダー航空機の販売権を同社に移譲		
	-	福岡支店「佐世保連絡所」「宮崎連絡所」を開設		
	-	福岡支店「長崎連絡所」「熊本連絡所」を廃止		
	10.10	福岡支店「住吉営業所」を開設		
	12.16	福岡支店「平尾営業所板付センター」を開設		

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項	
1972 (昭和47)	12.20	横浜支店「関内ショールーム」を開設			
1973 (昭和48)	2.13	田町駅前に(株)テイ・シー・ジェーのスタジオシティビル完成	1.27	ベトナム和平協定、正式調印	
	4.17	(株)ヤナセインターナショナル、コーヒーショップ「アンカー」を開設	10.23	国際石油資本のエクソン、シェル両社が原油価格の30%値上げを日本に通告、第1次オイルショック始まる	
	4.26	横浜支店「川崎営業所高津ショールーム」を開設	10.23	エサキ・ダイオードを発明した江崎玲於奈博士がノーベル物理学賞受賞	
	8. 9	(株)アポロインターナショナル設立(資本金1,000万円)、無人スピード違反取締機ORBISⅢの輸入販売	11. 1	プロ野球巨人軍、V9を達成	
	8.24	(株)ヤナセ埼玉「熊谷営業所」を開設			
	9.12	ヤナセ山口(株)、(株)ヤナセ中国に社名変更。(株)ヤナセ広島は発展的解散し(株)ヤナセ中国広島支店となる(10月1日)			
	9.28	大阪ロイヤルホテル内に大阪支店のブティックを開設			
	11. 8	東京支店ブティック「ヤナセ六本木本店」を開設。「スチューケトル六本木店」を開設			
	1974 (昭和49)	1.30	オランダのフォスカンプ社製グリーンハウス(ガラス温室)および関連機器の日本総代理店となる	8. 8	米国、ニクソン大統領、ウォーターゲート事件で辞任
	3.28	メルセデス・ベンツ、ボルボ用配車・パーツセンター、横浜ニューデポー完成	10. 8	佐藤栄作元首相がノーベル平和賞受賞	
4. 3	梁瀬次郎社長が藍綬褒章を受章				
4.13	(株)ヤナセ静岡「富士営業所」を開設				
4.20	福岡支店「板付ショールーム」を開設				
6.12	ヤナセヨーロッパB.V.設立(資本金28万ギルダー)				
7. 1	東京支店「目黒営業所」を開設				
7.15	東京帝国ホテル内に東京支店「ブティック帝国店」を開設				
7.24	西独コンチネンタル・グンミヴェルケ社との間のタイヤの一手輸入販売契約を締結				
9.30	日産プリンスの販売を中止				
12. 3	小牧デポー移転・拡張(旧小牧デポーは、名古屋サービスセンターとなる)				
12. 9	横浜デポーにフォルクスワーゲン新車整備工場完成				
-	ボルボの74年モデル以降の販売を中止				
1975 (昭和50)	7. 1	「ブティック西鉄グランドホテル店」を開設(福岡市)	3.10	山陽新幹線開業	
	7.28	大阪ロイヤルホテル内にショールームを開設	4.30	南ベトナム、サイゴン政府無条件降伏、ベトナム戦争終結	
	10.19	福岡支店「原営業所」を開設	7.20	沖縄国際海洋博覧会開催	
	12. 1	大阪支店「高松営業所」を開設	8.11	外国自動車輸入協同組合設立	
	12.23	東京支店「芝中古車センター」を開設	11.15	パリ郊外ランブイエ工場で第1回主要先進国首脳会議(サミット)開催	
	-	カーペタイルの日本総代理店となる			
	-	英国アラジン社製オイルヒーターを、日英米合併の日本アラジン(株)により国産化			
	-	フォスカンプ社との技術援助契約締結、グリーンハウスの完全国産化実現			
1976 (昭和51)	2. 1	(株)ヤナセ東北「盛岡営業所」を開設	2. 4	ロッキード事件発覚。7月田中角栄元首相を逮捕	
	2. 3	名古屋支店「泉中古車センター」を開設	7.17	モントリオール五輪開催、日本金9個	
	2.28	特約販売店オリンピックモーターズ、(株)茨城ヤナセに社名変更	7.19	JAJA、「自動車の輸入促進に関する要望書」を関係各所に配布	
	4. 1	ロサンゼルス駐在員事務所を開設 (株)ヤナセ東北「中古車センター」を開設	-	この年、人口の過半数が戦後生まれとなる	
	5. 8	札幌支店「麻生中古車センター」を開設			
	5.24	梁瀬次郎社長、日本自動車輸入組合理事長に就任			
	6. 1	(株)ヤナセ東北「郡山中古車センター」を開設			
	6.25	(株)ヤナセ静岡「中古車センター」を開設			
	7.24	(株)ヤナセ栃木「中古車センター」を開設			
	8.18	(株)ヤナセ京都設立(資本金5,000万円)			
	10. 1	名古屋支店「南営業所」を開設 (南府中モーター設立(資本金500万円))			
10. 3	(株)ヤナセ中国「東営業所」を開設 ブティック「小倉東急店」を開設				
11. 1	梁瀬空調設備(株)は、(株)ヤナセ設備工業と社名変更				
1977 (昭和52)	1.31	ヤナセ・フォスカンプ・グリーンハウス、全農とのタイアップ第1号完成(群馬県伊勢崎市)	8. 6	有珠山大噴火	
	3. 7	名古屋支店「小牧デポー新工場」完成	9. 3	王貞治、本塁打756本の世界記録達成	
	3.16	東京支店「新車センター」を開設	9.28	ダッカ日航機ハイジャック事件	
	4. 1	オールヤナセ統一キャッチフレーズ決定「いいものだけを世界から」	-	大卒初任給、101,000円	
	4.29	(株)ヤナセ東北「東営業所」を開設			
	6.11	東京支店「新宿ショールーム」を開設			
	6.28	ホノルル・インターナショナル・カントリー・クラブ(HICC)、ハワイにオープン			
	7. 8	(株)ヤナセ静岡「焼津営業所」を開設			



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項	
1977 (昭和52)	7.14	東京支店「足立中古車センター」を開設			
	7.23	横浜支店「川崎営業所ショールーム」を開設			
	7.27	ヤナセ・オブ・アメリカINC.設立(資本金10万ドル)			
	9.1	海外で初めてのプティック「ピオレット」を開設(ヤナセ・オブ・アメリカが経営)			
	9.28	名古屋支店「北営業所ショールーム」を開設			
	10.1	(株)東府中モータースの営業を譲り受け東京支店「府中営業所」を開設 (株)ヤナセ千葉「茂原営業所」を開設			
	11.1	大阪支店「東営業所」を開設			
	11.11	横浜デポ-新パーツ倉庫完成			
	1978 (昭和53)	4.15	(株)ヤナセ群馬「太田営業所」を開設	3.4	自動車の輸入関税撤廃
		5.13	東京支店「練馬中古車センター」を開設	4.27	植村直己、犬ぞり単独行で北極点に到達
6.10		名古屋支店「春岡通給油所」を開設	5.20	新東京国際空港(現・成田国際空港)開港	
7.8		東京支店「江戸川ショールーム」を開設	8.12	日中平和友好条約調印	
9.1		東京支店「目黒営業所柿の木坂ショールーム」を開設			
9.14		「モラビト ドゥ バリ」銀座営業所内に開設、モラビト商品を販売開始			
9.25		ヤナセオーナー向けPR誌「YANASE LIFE」創刊			
10.16		札幌支店「手稲営業所」を開設			
1979 (昭和54)		1.5	東京支店「目黒中古車センター」を開設	1.-	第2次オイルショック
		5.19	東京支店「多摩中古車センター」を開設	3.25	米国スリーマイル島原発事故
	5.22	GM社とのフランチャイズ契約変更に伴い、東京、大阪、名古屋、横浜、札幌におけるシボレーの販売権を新たに獲得 (株)ヤナセ千葉「成田中古車センター」を開設	6.28	第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催、7カ国・EC代表首脳出席	
	7.6	東京支店「駒沢ショールーム」を開設	11.-	東洋工業・フォード、資本提携	
	8.1	福岡支店「鹿児島営業所サービスセンター」を開設	12.27	ソ連、アフガニスタン侵攻	
	8.27	東京支店「高樹町中古車センター」を開設			
	9.3	東京支店「池袋営業所」を開設			
	9.7	東京支店「代々木ショールーム」を開設			
	10.1	(株)ヤナセ沖縄設立(資本金8,000万円) 横浜支店「戸塚営業所」を開設			
	10.15	名古屋支店「星崎営業所」「千早営業所」を開設			
	11.21	東京支店「多摩営業所サービスセンター」を開設			
	12.3	東京支店「杉並営業所」を開設			
	1980 (昭和55)	2.22	「ヤナセ銀座スクエア」を開設	7.18	モスクワ五輪開催、西側諸国・中国など不参加
4.4		「大阪サービスセンター」完成(旧茨木営業所)	9.22	イラン・イラク戦争勃発	
4.5		横浜支店「港北中古車センター」を開設	10.9	日産とアルファロメオ提携契約調印	
5.24		(株)ヤナセ栃木「小山営業所」を開設			
7.17		横浜支店「小田原中古車センター」を開設			
8.1		アルファ・アンド・アソシエイツ(株)、アルファレコード(株)、当社関係会社となる			
9.1		(株)ヤナセ中国「福山営業所」を開設			
10.1		神戸営業所が大阪支店から分離・独立し神戸支店に昇格			
10.13		福岡支店「久留米営業所」を開設			
11.8		横浜支店「戸塚ショールーム」を開設			
11.11	ヤナセビル別館完成				
1981 (昭和56)	6.2	いすゞ自動車(株)との間に同社製品の販売契約を締結、6月20日からピアッツァ・ネロ販売を開始	5.1	日米自動車交渉、日本の対米輸出自粛措置3年程度に初年度168万台で決着	
	7.1	大阪支店「西淀川中古車センター」を開設	8.12	鈴木・いすゞ・GM、資本提携	
1982 (昭和57)	2.4	札幌支店「月寒ベンツショールーム」を開設	2.8	ホテルニュージャパニ火災	
	3.1	アルファ・ムーン(株)設立	2.9	日航機「逆噴射」で羽田沖に墜落	
	6.15	GM社との間に日本における北米製全GM完成車の一手輸入販売契約を締結、従来のキャデラック、ビュイック、シボレーに加えてポンテアック、オールズモビルの取り扱いを開始	4.2	フォークランド紛争	
	10.21	「阿佐ヶ谷給油所」を開設			
1983 (昭和58)	1.1	GMディストリビューター契約を締結	2.17	トヨタ、GMとの合併生産に関する覚書調印	
	3.1	大阪支店「枚方営業所」を開設	4.15	千葉県浦安市に東京ディズニーランド開園	
	6.1	大阪支店「堺営業所」を開設			
	6.28	梁瀬次郎社長が内閣総理大臣より貿易表彰制度に基づき功労者として表彰			
	7.15	東京支店「目黒営業所ショールーム」を開設			

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
1983 (昭和58)	9.6	「港北ニュータウンSS」を開設		
	9.6	日本グットイヤー(株)と販売契約締結		
1984 (昭和59)	2.1	日産自動車(株)とサンタナに関する販売基本契約締結	2.7	日産、「サンタナ」を発売
	9.1	「サンローゼ赤坂シャルヴェ店」を開設	7.28	ロサンゼルス五輪開催、日本は柔道の山下泰裕ら金10個
	11.7	横浜支店「山下営業所」を開設		
1985 (昭和60)	4.25	ウエスタン自動車(株)横浜ニューデポ-新パーツ倉庫完成	3.16	科学万国博「つくば'85」開催(〜9月16日)
	5.23	創立70周年記念式典を開催	4.1	日本電信電話株式会社(NITT)、日本たばこ産業株式会社(JT)発足
	6.1	名古屋支店「半田営業所」を開設	5.17	国会で男女雇用機会均等法可決成立(86年4月施行)
	6.14	東京支店「江戸川営業所新ショールーム」を開設	6.8	淡路島と鳴門市を結ぶ大鳴門橋が完成開通
	6.20	梁瀬次郎社長、ドイツ連邦共和国バイエルン州政府から功労勲章授与	8.12	日航機、御巣鷹山に墜落
	6.26	ヤナセ、通産省より「貿易貢献企業表彰」		
	7.1	セブンティ設立(資本金3,000万円)		
	9.2	六本木にサントリージガーバー「ニューポート」を開設		
	9.17	創立70周年記念女子海外研修旅行(〜30日)		
	12.20	梁瀬次郎社長、会長に就任、社長に稲山孝英副社長		
1986 (昭和61)	3.1	(株)ヤナセ埼玉狭山営業所「所沢ショールーム」新設	1.21	メルセデス・ベンツ日本(株)設立
	4.1	東京支店「足立営業所」を開設	1.29	タイムラー・ベンツ社、自動車百年祭開催
	5.1	「佐藤町給油所」を開設(浜松市)	4.16	ソ連チェルノブイリ原発事故
	7.4	大阪支店「東住吉営業所」を開設	5.4	第12回先進国首脳会議(東京サミット)開催
	8.1	三井物産石油(株)と特販店契約締結、千葉市蘇我給油所の営業を引き継ぐ	-	バブル景気始まる
	10.1	(株)ヤナセ青森設立(資本金5,000万円)、前身は青森グリーンモータース(株) (株)ヤナセ山梨設立(資本金800万円)、前身は(株)富士自動車販売		
	10.7	大阪支店「GMセンター」を開設		
	11.-	ガンソー社自動車洗浄機の輸入総代理店となる		
	12.23	横浜デポ-パーツ倉庫完成		
	1987 (昭和62)	1.1	メルセデス・ベンツの輸入権をウエスタン自動車(株)から日本法人に移管、ベンツ事業部を新設(1月15日メルセデス・ベンツ事業部に改称)	4.1
4.8		「名古屋支店」を建て替え、新店舗にて営業開始	10.12	米マサチューセッツ工科大学の利根川進教授が、ノーベル医学・生理学賞受賞
4.20		(株)ヤナセ埼玉「上尾営業所」を開設	10.19	ニューヨーク株式市場、史上最大の22.6%暴落(ブラックマンデー)
4.29		梁瀬次郎会長が勲二等瑞宝章を受章		
5.8		(株)ヤナセ千葉「柏営業所」を開設		
9.-		米国ノースアメリカンベア社と業務提携、ぬいぐるみの販売開始		
9.21		表参道にノースアメリカンベア販売店「PRECS」を開設		
10.1		エーエムジー・ジャパン(株)営業開始(資本金6,000万円) 通信販売事業スタート		
		梁瀬次郎会長、社長を兼務、稲山社長は副会長に就任		
12.25		梁瀬次郎社長がドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章を受章		
1988 (昭和63)	1.21	神戸支店「須磨営業所」を開設	3.13	世界最長の青函トンネル(53.85km)開通、青函連絡船の80年に及ぶ歴史に幕
	3.1	(株)ハイグレード農園設立(資本金7,000万円)	3.17	屋根付き球場「東京ドーム」開館
	4.18	東京支店「ヤナセBPセンター」を開設	4.10	世界最長の道路・鉄道併用橋の瀬戸大橋が開通
	5.12	池袋営業所「早稲田ショールーム」を開設	6.18	リクルート事件発覚
	6.22	全日本ロータス同友会傘下(株)エルネットと業務提携	9.17	ソウル五輪開催、日本は100m背泳ぎの鈴木大地ら金4個
	7.9	ヤナセ撤会発会式		
	7.15	(株)ヤナセ千葉「八日市場営業所」を開設		
	9.6	新橋にサントリージガーバー「ボージャンティ」を開設		
	9.28	大阪支店「泉営業所」を開設		
	1989 (平成元)	2.1	アスベスト処理用機材、販売開始(商事事業部)	1.7
2.-		フレッド社製メガネフレーム取扱開始	1.8	改元(平成元年)
3.-		ドモナコ製陶磁器取扱開始(ファッション商品部)	2.24	大喪の礼
5.9		新排出ガス試験センター完成	4.1	消費税実施(乗用車のみ暫定消費税率6%)、自動車物品税廃止
6.2		「札幌支店」を建て替え、新店舗にて営業開始	6.4	天安門事件
10.1	名古屋支店「小牧デポ-」メルセデス・ベンツ専用の新車整備工場完成	11.10	ベルリンの壁崩壊	
1990 (平成2)	2.1	福岡支店「八幡営業所」を開設	12.29	日経平均株価、史上最高値を記録(3万8,957円)
	2.3	大阪支店「奈良営業所」を開設		
	4.12	大阪支店「枚方営業所」を開設		
	5.11	(株)ヤナセ千葉「松戸営業所ショールーム」を開設 「大阪支店」を建て替え、新店舗にて営業開始		
	6.8	名古屋支店「天白営業所」を開設		
	6.11	「浦安中古車センター」を開設		



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項		
1990 (平成2)	8. 2	東京支店「町田営業所」を開設	12. 2	秋山豊寛、ソ連ソユーズで日本人初の宇宙飛行に成功		
	9.18	日本橋にサントリーステージバー「ポートヴィラ」を開設				
	9.22	名古屋支店「笠寺サービスセンター」を開設				
	9.25	大阪支店「西淀川デリバリーセンター」を開設				
	9.28	神戸支店「姫路営業所ショールーム」を開設				
		名古屋支店「松阪給油所」を開設				
	9.30	東西ドイツ統一を記念して「ヤナセ・ベルリンマラソン」を開催				
	11. 9	㈱ヤナセ千葉「新浦安ショールーム」を開設				
	11.30	東京支店MB販売部「白金ショールーム」を開設				
	1991 (平成3)	1. 3			米国サターンの一手販売権を獲得	7.11
2. 1		ドイツ アラル社との間に自動車エンジンオイルの総輸入販売契約を締結	9. -	国土庁の発表で東京・大阪など大都市圏の住宅地の地価が初めて前年比マイナスとなる		
3. 6		マリーン部「二子玉川ポート展示場」を開設	12.25	ソビエト連邦崩壊		
3. 9		㈱ヤナセ青森「中古車センター」を開設	-	バブル経済崩壊		
3.28		横浜支店「港北営業所」を開設				
4.25		東京支店世田谷営業所「二子玉川ショールーム」を開設				
4.26		㈱ヤナセ千葉「本中山中古車センター」を開設				
		名古屋支店「第二丸田町給油所」を開設				
5.21		ウニモグ輸入販売契約調印				
9. 4		福岡支店「今宿営業所」を開設				
		㈱ヤナセ富山「高岡営業所」を開設				
9.19		大阪支店「千里ショールーム」を開設				
10. 1		横浜支店「小田原営業所」を開設				
10. 2		㈱ヤナセ静岡「西中原営業所」を開設				
12.12		「ヤナセ刈谷マリーンサービスセンター」開設				
12.16		㈱ヤナセ東北「泉営業所」を開設				
1992 (平成4)	1. 6	東京支店「足立営業所台東ショールーム」を開設	4. -	自動車の消費税暫定税率が6%から4.5%に バルセロナ五輪開催、女子200m平泳ぎの岩崎 恭子ら金3個 PKO部隊第一陣出発		
	3. 3	東京支店「八王子サービスセンター」を開設	7.25			
	3.20	ファッション商品部「モラビト・パティストーニ新横浜プリンスベ」を開設				
	4.11	オートキャンプ場「ヤナセモトスパーク」を開設				
	4.17	神戸支店「加古川営業所」、福岡支店「佐賀営業所」、㈱ヤナセ中国「山口支店宇部ショールーム」を開設	9.17			
	4.30	アダム・オベル社との間にオベルの一手輸入販売契約締結				
	5.13	大阪支店「社給油所」を開設				
	7.31	㈱ヤナセ青森「八戸営業所」を移転。㈱ヤナセ中国「観音営業所」を移転				
	10. 8	梁瀬次郎会長、米国防務省より表彰されホワイトハウスに招待				
	11. 5	名古屋支店「BPセンター」を開設				
	12.31	フォルクスワーゲンの販売終了				
	1993 (平成5)	1. 1	アダム・オベル社製オベルの一手輸入販売開始		5.15	初のプロサッカーJリーグ開幕
			ウエスタン自動車㈱、㈱ウエスタンコーポレーションに社名変更(略称ウエスコ)		6. 9	皇太子と小和田雅子さんがご成婚
3.31		いすゞ自動車㈱との提携解消	7. -	三菱、クライスラーとの資本関係を解消		
4. 9		㈱ヤナセ埼玉「北与野ショールーム」を開設	11. 1	欧州連合条約発効、EUスタート		
6. 1		東京支店「代田中古車センター」を開設				
10. 7		㈱フランス・モーターズ設立(資本金3,000万円)				
11. 3		東京支店「世田谷営業所」を建て替え、新店舗にて営業開始				
12.21		会長に梁瀬次郎就任、社長に稲山孝英就任				
1994 (平成6)		10. 1	㈱ヤナセ山梨「富士吉田営業所」を開設	-	通産省、対米自動車輸出自主規制撤廃を発表	
			東京支店「葛飾中古車センター」を開設	4. 1	乗用車の暫定消費税率4.5%が廃止され3%に	
		㈱フランス・モーターズ「東京販売部ショールーム」を開設	6.27	松本サリン事件		
	11.28	㈱ヤナセ石油販売設立(資本金8,000万円)	9. 4	関西国際空港開港		
1995 (平成7)	2. 4	横浜支店「鎌倉営業所」を開設	1.15	ラグビーの神戸製鋼、日本選手権でV7を達成		
	6. 1	㈱ヤナセ富山「東営業所」を開設	1.17	阪神・淡路大震災発生		
	8.17	名古屋支店「小牧IC給油所」を開設	3.20	地下鉄サリン事件		
	9. 1	㈱フランス・モーターズ「青山ショールーム」を開設	6. -	日米自動車交渉、実質合意		
	10.26	創立80周年記念行事を開催	7. 1	製造物責任法(PL法)施行 自動車検査の6カ月点検の廃止、12カ月、24カ月点検時の点検項目削減を柱とする道路運送車両法が施行		
	1996 (平成8)	3. -	ウエスコ機械部キローライブチヒ社製大型クレーン・ツバイベク社製軌陸車の新商品取扱開始	7.19	アトランタ五輪開催、日本は金3個	
3.11		㈱ヤナセウェルサービス設立(資本金3,000万円)				
3.22		マリーン部「大阪営業所」を開設				
6. 1		福岡支店「もちショールーム」を開設				

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項	
1996 (平成8)	6. 8	㈱フランス・モーターズ「ルノー町田ショールーム」を開設			
	6.11	自動車販売累計100万台達成(1952年より)			
	6.28	ヤナセ100万台納車式			
	7. 1	ウエスコが業界初の「板金塗装集中管理システム(BPシステム)」導入			
	7. 5	㈱ヤナセ石油販売「町田木曾給油所」を開設			
	7. 6	㈱ヤナセ青森「弘前営業所」を開設			
	7. 8	サターンジャパンと販売契約締結			
	10.17	ヤナセサターン㈱設立(資本金3,000万円)			
	11. 1	㈱フランス・モーターズ「ルノー豊玉ショールーム」を開設			
	11.16	㈱フランス・モーターズ「ルノー千葉ショールーム」を開設			
	1997 (平成9)	1.18			福岡支店「小田部営業所」を開設
3.15		㈱フランス・モーターズ「静岡営業所」を開設	4. 1	消費税率が3%から5%に引き上げ	
5.16		ヤナセサターン㈱「サターン横浜」を開設	7. 1	香港が中国に返還される	
7. 1		スウェーデンのサーブ・オートモービル社製サーブの一手輸入販売開始	11.24	山一証券経営破綻	
9. 6		ヤナセサターン㈱「サターン八王子」を開設			
11. 5		JR田町駅前スタジオシティビル1階にカフェバー「PRONT 芝浦店」を開設			
11.12		㈱ヤナセ四国設立(資本金3,000万円)			
1998 (平成10)		1.10	㈱フランス・モーターズ「浦和営業所」を開設	2. 7	長野冬季五輪開催、スピードスケート500mの清水宏保ら金5個
		2.25	銀座スクエア内に「モラビト銀座」を開設	5. 7	独のダイムラー・ベンツと米・クライスラーが合併、新会社「ダイムラー・クライスラー」が発足
		3.10	横浜デポーにパーツ自動倉庫導入	5.20	希望ナンバー制が全国25地域で実施
		4.17	GM社のキャデラックマスターディーラー賞を10年連続で受賞、海外ディーラーとしては初の殿堂入り		
	4.24	JR田町駅前スタジオシティビル2階に、マリーン用品専門店「ヤナセマリーンスクエア」を開設			
	1999 (平成11)	4.13	ウエスコがカーアクセサリ、レストランの販売拠点「Autohof WESCO (アウトホフ ウエスコ)」を開設(東京・世田谷区)	1. 1	欧州単一通貨(ユーロ)が発足
10.19		梁瀬次郎会長がドイツ連邦共和国バーデン・ヴュルテンベルク州経済功労章を受章	1. -	フォード、ボルボの乗用車部門の買収を発表	
			3. -	日産、ルノーとの資本提携契約に合意調印	
2000 (平成12)	1. 5	豊橋車両センターを開設	10.21	国連の推計で世界人口60億人に達する	
	4. 1	シボレー、オベル、AMGの輸入権を日本現地法人へ移行	3. -	ダイムラー・クライスラーと三菱の資本提携を発表	
	8. 1	㈱ヤナセ東北「いわき営業所」を開設	6. -	日産社長にカルロス・ゴーン氏が就任	
	10. 1	主力事業である自動車事業を中心に大幅な機構改革を実施、すべての営業所を事業責任を有する支店に格上げした	10.18	筑波大学名誉教授の白川英樹がノーベル化学賞を受賞	
	10.16	「アウディ 港南台」開設	9.15	シドニー五輪開催、日本金5個	
	2001 (平成13)	1. 1	AMGメルセデスおよびMB「Gクラス」の輸入・卸売業務を、AMGジャパンからダイムラー・クライスラー・日本㈱に移管	1. 6	中央省庁が再編され1府12省庁体制へ
		1. 5	アウディの販売を再開	3.31	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) が大阪に開業
			レンタカー営業部営業開始	9.11	アメリカで同時多発テロ発生、世界貿易センタービル崩壊
		2. 1	石油事業部の業務を㈱ヤナセ石油販売に移管	10. 7	米英軍がアフガニスタンのタリバン政権を攻撃開始
		2. 2	「アウディ千葉」を開設	10.10	名古屋大学教授の野依良治がノーベル化学賞受賞
2. 3		「アウディ 箕面」「アウディ 東大阪」「アウディ 戸塚」「アウディ 町田」を開設			
2. 9		「アウディ 芝浦」「アウディ 静岡」を開設			
3. 2		「アウディ 名古屋北」を開設			
4.28		「港北中古車買取販売センター (YOU System)」開設			
4.30		ルノー、サターンの販売を終了			
6. 8		「アウディ八王子」を開設			
6. 9		「アウディ 調布」を開設			
6.16		「札幌伏見中古車センター」を開設			
6.30		「神戸中古車センター」を開設			
7. 3		「横浜港北支店ニュータウン営業所」を開設			
7. 6		「名谷支店」を開設			
		「アウディ 京都中央」を開設			
7. 7		「アウディ 観音」を開設			
7.16		京都営業部発足、㈱ヤナセ京都より営業譲り受け			
8.23	「世田谷支店オベルショールーム」を開設				
10. 2	副会長に稲山孝英就任、社長に井上隆裕就任				
10.13	「アウディ さいたま」を開設				
11. 5	「関西BPセンター」を開設				
11.14	「アウディ 奈良」を開設				
12.14	㈱ヤナセ大阪クライスラー設立(資本金3,000万円、略称YCJ)				
12.15	「アウディ 市川」を開設				



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
2002 (平成14)	1.5	メルセデス・ベンツ販売50周年事業実施(～12月31日)	5.31	サッカーW杯日韓大会開催、日本は1次リーグ突破。ブラジルが最多5度目の優勝
	1.8	YCJ「クライスラー・ジープ大阪北」を開設	10.15	北朝鮮拉致被害者5人帰国
	1.21	梁瀬次郎会長初代日本自動車殿堂入りとなる		
	3.9	「アウディ郡山」を開設		
	3.15	(株)ウエスタンコーポレーションを吸収合併(資本金4億4,000万円)		
	12.1	ヤナセ アウディ販売(株)設立(資本金7億5,500万円、略称YAKK、(株)ヤナセ66.6%、アウディジャパン(株)33.4%出資)、当社のアウディ事業を同社に譲渡		
	12.20	梁瀬次郎会長が名誉会長に就任		
12.31	キャデラック、サブの輸入権をGMJに移管			
2003 (平成15)	2.7	第三者割当増資を実施(資本金4億4,000万円が49億7,600万円に)	3.20	イラク戦争(～5月1日)
	4.25	ヤナセ バイエールン モーターズ(株)(資本金2億円、略称YBM)、5拠点にて営業開始	4.28	東証株価7,631円のバブル後最安値を記録
	6.3	YBM「ヤナセBMW名古屋支店」「ヤナセBMW中川支店」「ヤナセBMW天白支店」を開設	4.25	「六本木ヒルズ」がオープン
	9.6	日本最大級の輸入車中古車展示場「ヤナセ ブランドスクエア横浜」を開設	12.1	テレビ、地上波デジタル放送開始
	10.1	ヤナセネットワークディーラーに対するメルセデス・ベンツ車の卸売業務を、タイムラー・クライスラー日本(株)に移管		
		YBM「ヤナセ モトラッド芝浦」を開設		
	10.2	シエルター(移動作業車)ならびに特種車両製造にかかわる営業を(株)殿内製作所の子会社、ヤナセテック(株)に譲渡		
	10.18	「ヤナセ仙台中古車センター」を開設		
	11.1	ガラス温室事業を富国工業(株)の子会社、ヤナセテクノグリーン(株)に譲渡		
	11.30	ヤナセネットワークディーラーに対するシボレー車の卸売業務を、スズキ(株)に移管		
	12.2	YBM「ヤナセBMW豊中支店」を開設		
	12.12	(株)ヤナセ大阪クライスラー、(株)ヤナセクライスラーに社名変更(略称YCJ)		
2004 (平成16)	4.1	ヤナセBPシステムを、ヤナセ直営全支店に拡大	8.13	アテネ五輪開催、日本金16個
		YBM「ヤナセBMW名古屋西インターアブルードカーセンター」を開設	10.23	新潟県中越地震
	4.10	YCJ「クライスラー・ジープ名古屋中央」「クライスラー・ジープ鹿沼島」を開設		
	4.13	(株)ヤナセグローバルモーターズ設立(資本金3,000万円、略称YGM)		
	4.24	YCJ「クライスラー・ジープ大阪南」「クライスラー・ジープ福岡西」を開設		
	5.6	「名古屋西中古車センター」を開設		
	5.31	建設営業分野にかかわる営業を終了		
	6.1	ヤナセ バイエールン モーターズ三重(株)設立(資本金2,000万円、略称YBMM)、2拠点にて営業開始		
	6.4	チューリッヒ保険(株)と修理工場紹介制度分野で業務提携		
	6.14	アクサ損害保険(株)と修理工場紹介制度分野で業務提携		
	7.1	産業機器分野の除雪機などの販売にかかわる営業を、(株)コマ製作所の子会社、ヤナセ産業機器販売(株)に譲渡		
		YGMが、東京、横浜地区において、GM系各社の販売を開始		
		中古車検索サイト「BRAND-SQUARE.com」と名称を変更してリニューアル		
	7.16	「ヤナセBPセンター横浜」アウディのアルミニウムボディショップに認定		
	7.26	ヤナセ ヴィークル ワールド(株)設立(資本金1,000万円、略称YVW)、VGJとディーラー契約締結		
	8.2	(株)ヤナセ群馬、(株)ヤナセ栃木、(株)ヤナセ埼玉、(株)ヤナセ千葉、(株)ヤナセ静岡、(株)ヤナセ中国、(株)ヤナセ四国を簡易合併		
9.3	「ヤナセ ブランドスクエア仙台」を開設			
10.1	井上隆裕社長が副会長に、古市宏幸副社長が社長に就任			
	(株)ヤナセ山梨を合併、(株)ヤナセ旭川から営業譲受			
10.6	梁瀬次郎名誉会長、米国自動車殿堂入り			
10.9	「ヤナセ ブランドスクエア芝浦ショールーム」を開設			
	YAKK「アウディ・アブルード名古屋北」を開設			
10.14	「Jiro Yanase Museum」、YGM「ヤナセ赤坂キャデラックサロン」を開設			
10.16	YAKK「アウディ名古屋中央」を開設			
12.1	YBM「ヤナセBMW豊中支店」を開設			
2005 (平成17)	1.1	栃木・群馬・埼玉エリアを統括する北関東営業本部、神戸・四国エリアを統括する神戸四国営業本部を新設	1.1	自動車リサイクル法施行
	3.1	YAKK「アウディ宮城野」を開設	4.1	個人情報保護法施行
	4.1	(株)ヤナセ長崎から営業譲受	8.30	トヨタ、国内でレクサス店の営業開始
	4.2	「ヤナセ ブランドスクエア湘南」を開設		
	4.23	YVW「フォルクスワーゲン新宿」を開設		
	5.9	「BPセンター福岡」を開設		
	6.4	YVW「フォルクスワーゲン品川」を開設		

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項	
2005 (平成17)	7.1	「北見サービスセンター」を開設			
	8.6	「北見中古車センター」を開設			
	8.25	YGMが、東京地区においてGM社製ハマーの販売を開始			
	8.30	YBM「ヤナセBMW世田谷支店」を開設			
	10.3	当社が受注した板金・塗装修理の不具合について5年間の長期にわたり無償再修理を保証する輸入車ディーラー初の「ヤナセBP修理保証制度」を導入			
	11.1	「ボディコーティング認証制度」導入			
	11.1	機械事業の事業(鉄道保線用作業車など特種車両にかかわる事業)の全部を、ワイ・エンジニアリング(株)(横浜市)に譲渡			
	12.2	YBM「ヤナセBMW枚方支店」を開設			
	2006 (平成18)	1.5	YGM「ヤナセグローバルモーターズ町田支店」を開設	2.10	トリノ冬季五輪開催、女子フィギュアスケートの荒川静香、金メダル(イナバウアー)
			YCJ「クライスラー・ジープ大阪中央」を開設	4.-	いすゞ、GMと資本提携解消を発表
			YCJ「クライスラー・ジープ山口」を開設	11.7	トヨタ、いすゞと業務提携に向けて基本合意
		1.7	YBM「ヤナセBMW枚方アブルードカーセンター」を開設		
1.28		京葉地区最大級の輸入車中古車展示場「ヤナセ ブランドスクエア浦安東京ベイ」を開設			
2.4		YBM「ヤナセBMW八尾支店」を開設			
2.16		西日本最大級の輸入車中古車展示場「ヤナセ ブランドスクエア神戸ポートアイランド」を開設			
		「国内メーカー製高級中古車」の取り扱いを開始			
4.6		YBM「ヤナセ モトラッド世田谷」を開設			
5.8		オベルの販売中止			
5.20		YCJ「クライスラー・ジープ青森」「クライスラー・ジープ郡山」を開設			
7.1		「宇都宮中古車センター」を開設			
8.1		ヤナセスカンジナビアモーターズ(株)(資本金9,000万円、略称YVL)、4拠点にてボルボの販売(「ボルボ・カーズ楠」「ボルボ・カーズ神戸東」「ボルボ・カーズ神戸西」「ボルボ・カーズ松山」)			
		「川越支店」を開設			
8.31		ヤナセ琉球(株)設立(資本金1,000万円)、GM系各車の販売を開始			
9.1		ヤナセ琉球(株)が、スバル系販売会社より事業を譲り受け、スウェーデン製ボルボの販売を開始			
		YVL「ボルボ・カーズ所沢」「ボルボ・カーズ中野」「ボルボ・カーズ杉並」「ボルボ・カーズ八王子」「ボルボ・カーズ磯子」「ボルボ・カーズ枚方」「ボルボ・カーズ茨木」「ボルボ・カーズ堺・深井」を開設			
9.9		「奈良支店」を開設、YCJ「クライスラー・ジープ奈良」を開設			
9.30		全額出資子会社の(株)ヤナセ石油販売が、燃料販売・ガソリンスタンド経営両事業を伊藤忠エネクス(株)および小倉興産エネルギー(株)に譲渡			
		モラビト製品の販売にかかわる事業を終了			
10.1	タイムラー・クライスラー日本(株)との間に締結の「メルセデス・ベンツ販売店契約書」が発効し、ディーラー専業体制に移行				
11.28	国内最大規模を誇る輸入車ショールームを備えたメルセデス・ベンツ情報発信基地「メルセデス・ベンツセンター 東京」を開設				
12.1	YCJ「ヤナセクライスラー東京」を開設				
2007 (平成19)	1.10	YVL「ボルボ・カーズ新宿」を開設	7.16	新潟県中越沖地震(柏崎刈羽発電所全面停止)	
	1.31	GM系各車の販売事業を、全額出資子会社の(株)ヤナセグローバルモーターズへ譲渡	10.1	日本郵政公社、民営化スタート	
	2.1	YCJ「クライスラー・ジープ戸塚」を開設			
	2.2	「本町支店」「ヤナセ ロイヤルスクエア」「ヤナセ ブランドスクエア堺」を開設			
	2.15	鳥取ヤナセ(株)が「(株)ヤナセ鳥取」に社名変更			
	3.31	YVL「ボルボ・カーズ湘南」を開設			
	4.1	自動車パーツ・同アクセサリ・タイヤにかかわる卸売事業を、全額出資子会社の(株)ヤナセオートパーツ(略称YAP)に会社分割により移管			
	4.3	YVL「ボルボ・カーズ緑」を開設			
	4.6	ヤナセ バイエールン モーターズ福岡(株)(資本金1,000万円、略称YBMF)、7拠点にて営業開始			
	4.10	(株)ヤナセ東北「BPセンター仙台」を開設			
	5.26	YGM「YGM札幌支店」を開設			
5.30	(株)ヤナセ鳥取「鳥取ショールーム」を開設				
6.15	YCJがダッジの販売開始				
6.29	アウディ ジャパンとの合併事業を解消、アウディの販売を一時中止				
6.29	「(株)ヤナセ熊本ホールディングス」設立(資本金2,000万円)				
7.1	「成東支店」を開設				
9.7	(株)ヤナセ鳥取「鳥取中古車センター」を開設				
9.29	YVL「ボルボ・カーズ三鷹」を開設				
10.1	西山俊太郎副社長が社長就任				
	ヤナセ オートモーティブ(株)設立(資本金1億円、略称YAU)、アウディの販売を再開				



年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
2007 (平成19)	10. 5	YBM「ヤナセBMW田園調布支店」「ヤナセBMW池上サービスセンター」を開設		
	11. 2	「ヤナセ ブランドスクエア千里」を開設		
2008 (平成20)	1. -	メルセデス・ベンツ サーチファイドカーセンター／コーナーを全国に設置開始	8. 8	北京五輪開催、日本金9個
	3.13	梁瀬次郎名誉会長逝去、5月8日社葬	9.15	リーマン・ブラザーズが経営破綻、世界金融危機
	7.25	「ヤナセ ブランドスクエア長久手」を開設	10. 7	小林誠、益川敏英、南部陽一郎がノーベル物理学賞受賞。下村脩がノーベル化学賞受賞
	7.30	故梁瀬次郎名誉会長、叙位「従四位」を受ける		
	8. 7	第三者割当増資を実施(資本金49億7,600万円が69億7,587万2,000円に)		
	8.29	「ヤナセ ブランドスクエア福岡」を開設		
	10. 1	(株)ヤナセクライスラーのクライスラー事業とヤナセスカンジナビアモーターズ(株)のボルボ事業を(株)ヤナセグローバルモーターズに事業統合		
	11. 8	YAU「アウディ・アブルーブド浦安」を開設		
2009 (平成21)	1. 4	池袋支店早稲田ショールームを移転し、「新宿支店」として営業開始	5.21	裁判員制度始まる
	2. 7	さいたま支店 越谷ショールームを移転し、「越谷支店」として営業開始	6. 1	GM、連邦倒産法第11章の適用を申請し国有化
	3.16	YAPがウルトジャパン(株)と提携、自動車用整備・補修用品の取り扱いを開始	6.12	WHO、新型インフルエンザのパンデミック(世界的大流行)を宣言
	7. 4	「西宮支店」を移転新築し、ヤナセミュージアムを併設した新店舗の営業を開始		
	7.25	YVW「フォルクスワーゲン芝浦」を開設		
	9. 1	アニコム損害保険(株)と代理店契約を締結し、正規輸入車ディーラーでは初めてペット保険の取り扱い開始		
	10. 1	ヤナセ バイエール モーターズ(株)がヤナセ バイエール モーターズ三重(株)を吸収合併(資本金1億円)		
2010 (平成22)	1. 9	YAU「アウディ橋」新店舗にて営業開始	6.13	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
	1.23	YBM「BMWプレミアムセレクション世田谷」を改装し、営業開始	10. 6	根岸英一、鈴木章、ノーベル化学賞受賞
	1.23	YBMF「ヤナセBMW太宰府」を移転し、「ヤナセBMW板付」として営業開始	12. 4	東北新幹線、全線開通
	4. 1	スマートの販売・アフターサービスをメルセデス・ベンツ販売店全店に拡大		
	4. 5	東京・神奈川エリアにおける輸入車部品商社、整備・板金塗装工場への部品販売事業を、子会社のYAPに移管		
	5. 6	(株)日本エコシステムと販売パートナー契約を締結し、「太陽光発電システム」の紹介活動を開始		
	6. -	サーブ製造元の経営権異動に伴う出荷停止により販売中止		
	8.20	「杉並支店」を移転新築し、営業開始		
	10. 1	YGMがビーシーアイ(株)とサーブの販売店契約を締結		
		(株)ヤナセ東北が(株)ヤナセ岩手、(株)ヤナセ青森を吸収合併		
2011 (平成23)	2. 7	YAP「関西エリアセンター」を新設し、営業開始	2.14	中国の2010年国内総生産(GDP)が日本を抜き、世界第2位となる
	3.11	「千葉支店」新店舗にて営業開始	3.11	東日本大震災発生(M9.0)。福島第一原発で深刻な事故発生
	4. 1	大阪営業本部、京都営業本部を関西営業本部として統合	3.12	九州新幹線全線開通(鹿児島ルート)
		(株)ヤナセオートパーツにBP事業を移管し、同社の社名を(株)ヤナセオートシステムズ(YAS)に変更	7.17	女子サッカー「なでしこジャパン」がW杯で初優勝
	5. 6	本社屋建て替え工事・再開発に着手	7.24	地上デジタル放送に完全移行
	6. 2	「目黒支店ショールーム」を移転し、営業開始	10. -	国連の推計で世界人口70億人に達する
	8. 1	名古屋エリアにおける部品販売事業を子会社のYASに移管、大都市圏アフターマーケット向け部品販売ネットワークが完成		
	8. 1	YGM「ボルボ神戸東支店」「ボルボ神戸西支店」を伊丹産業カーズ(株)に事業譲渡		
	12.22	井出健義副社長が社長就任		
2012 (平成24)	1. 5	サーブの販売終了	5.22	東京スカイツリー、開業
	2.11	YGM「キャデラック・シボレー札幌」を移転	7.27	ロンドン五輪開催、金7個を含むメダル総数38個(過去最多)
	4. 2	東京支店代々木ショールームを移転、「渋谷支店」に改称し、新店舗で営業開始	10. -	山中伸弥、ノーベル医学・生理学賞受賞
	6. 1	足立支店江戸川営業所を移転・新築し、「江戸川支店」として営業開始	12. 9	GM、米国財務省が保有するGMの株式を全て売却し国有化終了
	7.28	「ヤナセ ブランドスクエア目黒」を開設		
	9. 1	「横浜三ツ沢支店サービス工場」を改装し、営業開始		
	10. 1	YAS「BPセンター岡山」を開設		
	10. 4	「板橋支店」を移転、新店舗にて営業開始		
	10.31	新本社屋竣工		
	11.10	YBM福岡「BMWプレミアムセレクション福岡」を移転・新築し、営業開始		
	12. 1	YGM「キャデラック・シボレー東京」を移転・改装し、営業開始		
2013 (平成25)	1. 5	YVW「フォルクスワーゲン芝浦」を移転、新店舗にて営業開始	6.26	富士山と関連文化財が世界遺産に登録
	1. 9	「神田支店」を開設	9. 7	2020年五輪が東京に決定
	1.11	YBMF「ヤナセBMW久留米」を移転、新店舗にて営業開始		
	3. 4	「新宿支店池袋サービスセンター」を改装し、営業開始		
	4. 6	「ヤナセ ブランドスクエア板橋」を開設		

年	月日	ヤナセ関連事項	月日	業界・社会一般事項
2013 (平成25)	4.15	YAS「首都圏第二エリアセンター」を開設		
	4.16	YAS「BPセンター三郷」を開設		
	9.13	「ヤナセ夜間・休日緊急サポートコールセンター」を設置		
	9.30	ヤナセグループ新車累計販売180万台を達成		
	10. 1	「BPR フェーズI」全社展開を開始		
10. 2	「メルセデス・ベンツ世田谷桜丘ヤナセ コレクションプラザ 東京」を開設			
2014 (平成26)	1.31	「緑支店」を開設	2. 7	ソチ冬季五輪開催、日本は金1(フィギュアスケート男子の羽生結弦)、銀4、銅3
	2.28	YAU「アウディ 京橋」を開設	4. 1	消費税8%スタート
	3.31	YAS「東北エリアセンター」を開設	9.27	御嶽山噴火で死者57人、行方不明者6人
	4. 1	YAS、中国エリア3県でDRP業務を開始	10. 7	ノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏
	6. 1	YAS「北海道エリアセンター」を開設、北海道から九州までカバーする全国7センター体制が完成		
	8.22	「山下支店」を建て替え、新店舗にて営業開始		
	9.30	YGM「キャデラック・シボレー横浜港北」移転、新店舗にて営業開始		
	11.13	「ヤナセハイグレードフェア」をザ・プリンス パークタワー東京で開催		
11.15	「ヤナセ創立100周年記念フェア」を各地で開催(～16日)			
2015 (平成27)	2. 2	新設の「ヤナセ プライミングセンター」に中古車査定価格算出業務を移管	3.14	北陸新幹線、長野～金沢開業
	3. 5	「横浜港北支店港北ニュータウン営業所」を開設		
	3.30	YBM「BMWプレミアムセレクション田園調布」を移転し、新店舗にて営業開始		
	4. 7	「ヤナセ100周年記念、こんなメルセデスに乗りたい！」コンテスト、最優秀の「ヤナセ100周年賞」受賞者へのスペシャルカー贈呈を決定!		
	5.25	株式会社ヤナセ創立100周年記念式典・祝賀会を開催		

【凡例】 関係会社の略称

- YCJ= (株)ヤナセ大阪クライスラー / (株)ヤナセクライスラー (クライスラー販売会社)
- YAKK= ヤナセ アウディ販売(株) (アウディ・ジャパンと合併のアウディ販売会社)
- YBM= ヤナセ バイエール モーターズ(株) (BMW 販売会社)
- YBMM= ヤナセ バイエール モーターズ三重(株) (BMW 販売会社)
- YBMF= ヤナセ バイエール モーターズ福岡(株) (BMW 販売会社)
- YGM = (株)ヤナセグローバルモーターズ (GM 販売会社)
- YVW= ヤナセ ヴィーグル ワールド(株) (フォルクスワーゲン販売会社)
- YVL= ヤナセ スカンジナビア モーターズ(株) (ボルボ販売会社)
- YAU= ヤナセ オートモーティブ(株) (アウディ販売会社)
- YAP= (株)ヤナセオートパーツ (部品販売会社)
- YAS= (株)ヤナセオートシステムズ (部品販売・BP 事業会社)



# ヤナセの歌

梁瀬次郎 作詞  
馬渡誠一 作曲

ひびやのもりのあおぞらたかーく  
 さつきのかぜーにさちのせーてうぶ  
 ごえあーげしやーなせーこーそーに  
 1.2.  
 ほんのぶんかをになーいたり  
 3.  
 りやなせやなせやなせ

- 一、日比谷の杜の青空高く  
五月の風に幸のせて  
産声あげしヤナセこそ  
日本の文化を担いたり
- 二、吾等がうけし尊きつとめ  
荒波こえて培いし  
ヤナセが築きし歴史こそ  
日本の文化の歩みなれ
- 三、ヤナセの行く手は希望にみちて  
いざ高らかに歌うかな  
意気と熱と人の和は  
日本の文化の誇りなり  
ヤナセ ヤナセ ヤナセ

# ヤナセ ヤングマン讃歌

ヤナセジロウ 作詞  
馬渡誠一 作曲

もえーるーファイトにーむねーをはり  
 せかいーのとーもとーうでくんで  
 われらがヤナセのしんぐんだあふれるちからをしめそうよすす  
 めやなせのセールスマン  
 1.2.  
 ダッシュダッシュダッシュマンダッシュダッシュダッシュマンウオーウオー  
 3.  
 ウオーウオーウオーウオー

- 一、燃えるファイトに胸を張り  
世界の友と腕組んで  
吾等がヤナセの進軍だ  
溢れる力を示めそうよ  
進めヤナセのセールスマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ウオーウオー
- 二、汗と油にまみれても  
笑顔に秘めた心意気  
磨き鍛えたこのウデで  
心をこめて尽くそうよ  
進めヤナセのサービスマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ウオーウオー
- 三、ここに集いし精鋭は  
世界に誇るヤナセマン  
スクラム固く高らかに  
豊かな未来を謳おうよ  
進めヤナセのヤングマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ダッシュダッシュダッシュマン  
ウオーウオーウオーウオー



## ■参考資料一覧

---

『日本自動車史と梁瀬長太郎』  
1950年 日本自動車史と梁瀬長太郎刊行会

梁瀬 次郎 著 『轍』(全5巻)  
1981年～1987年 (株)図書出版社刊

梁瀬 次郎 著 『じゃんけんぼん』  
1992年 (株)図書出版社刊

梁瀬 次郎 著 『私の七十年』  
1985年 (株)ヤナセ刊

(株)ヤナセ 社内報『和苑』

(株)ヤナセ プレスリリース

---

師岡 宏次 著 『オールドカーのある風景』  
1984年 二玄社

週刊朝日 編 『値段の風俗史』上下  
1987年 朝日新聞社

(株)日刊自動車新聞社・(社)日本自動車会議所 著 『自動車年鑑』  
1995年版～2015年版 日刊自動車新聞社

桂木 洋二 著 『プリンス自動車の光芒』  
2003年 グランプリ出版

桂木 洋二 著 『欧米日・自動車メーカー興亡史』  
2004年 グランプリ出版

GP企画センター 編 『日本自動車史年表』  
2006年 グランプリ出版

呂 寅満 著 『日本自動車工業史』  
2011年 東京大学出版会

佐々木 烈 編纂 『日本自動車史』(全2巻)『日本自動車史 写真・資料編』  
2012年 三樹書房

日産工機(株) 『日産工機50年のあゆみ』  
2014年

---

『外車の歩み』『外車の歩みⅡ』『輸入車の歩みⅢ』 日本自動車輸入組合

『五十年史』 (社)日本自動車販売協会連合会

『芝浦一丁目町会七十年史 変わりゆくわが町』 芝浦一丁目町会

『バスラマ エクスプレス No.6 ヤナセのバスボデー』 (株)ほると出版

雑誌『ノスタルジックヒーロー』 (株)芸文社

官報

日産自動車メーカーサイト

トヨタ企業サイト「トヨタ自動車75年史」

朝日新聞

毎日新聞

日本経済新聞

日刊自動車新聞

その他



ヤナセ 100年の<sup>わだち</sup>轍

---

2015年9月 吉日 発行

発行  
株式会社ヤナセ

〒105-8575 東京都港区芝浦1丁目6番38号

編集・制作  
株式会社 出版文化社  
東京・神田神保町 大阪・本町

印刷・製本  
セザックス株式会社

---

©2015 YANASE & CO., LTD. All rights reserved.